

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス井野教室		
○保護者評価実施期間	令和6年2月12日		～ 令和6年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和6年2月12日		～ 令和6年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用することに対してお子様が安心感をもって楽しみに通っているという意見が多い。	学校での疲労感などを配慮して療育を行ったり、一人一人に寄り添った療育を行っている。	実際の療育の様子を見学していただきやすいよう環境づくりや企画を行い、より安心感をもって利用してもらう。
2	療育環境に対しては比較的良好な印象を持っていただいている傾向がみられる。	危険個所の確認や見直し、または職員間での危険の可能性の共有を行っている。 階段や段差等には必ず職員が配置されるよう配慮している。	危険個所の共有がしやすいようリストの作成や定期的な見直しを行っている。
3	個人情報の取り扱いについては安心感をもって利用していただいている傾向がみられる。	個人情報の取り扱いについて職員間でも共有を行い、流出等の危険につながらないようにしている。	全てに書類等の取り扱いについてのマニュアルを作成し、すべての職員が一様に危機感をもって業務を行っていただけるよう環境づくりを行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアルや緊急時の対応が保護者の方にうまく伝わっていない傾向がある。	ご契約の際には避難場所や訓練の実施についてご説明を行い、共有を図っている。	定期的なお便りの作成を行い、配布することで情報の共有を行っていく。
2	定期的な面談や子育てについての助言についての意見にばらつきがあった。	お子様の様子に応じて必要性を感じる場合は面談等の設定を行い、状況の改善を図っているが、利用者によって期間が開いてしまう場合もある。	面談時期の設定を行い、保護者の方と面談ができる期間を作っていく必要がある。
3			